

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 和田山 正 副委員長 小嶋徹也
幹事 野崎隆之・廣友雅徳 幹事補佐 太田隆博

日時 7月16日(木) 10:30~17:05

会場 オンライン開催

議題 フレッシュマンセッション, 一般

IT1 フレッシュマン (10:30~11:45)

1. Polarization Adjusted Convolutional 符号に適した復号方法の検討
○黒須礼尚・ヤチョンカ ワムア・八木秀樹 (電通大)
2. 一般化ハミング重みを用いたポーラ符号の送信ビット選択方法
○旭 瑞歩・ヤチョンカ ワムア・八木秀樹 (電通大)
3. Deep-Neural-Network-Based Decoding Method for Binary Signature Code
○Lantian Wei・Shan Lu・Hiroshi Kamabe (Gifu Univ.)

午後 IT2 招待講演 (13:15~14:05)

4. [招待講演] 量子計算の基礎 森前智行 (京大)

IT3 フレッシュマン (14:20~15:35)

5. 画像再構成のための自己符号化器を収縮関数に用いた学習型 ISTA に関する検討
○横山健人・高邊賢史・和田山 正 (名工大)
6. 変分ベイズ法によって導出された近似事後分布を用いた予測分布とベイズ予測分布の α -ダイバージェンスの漸近評価
○山田一翔・齋藤翔太・松嶋敏泰 (早大)
7. FTM ゲートを用いた量子フーリエ変換の定式化について ○中里将輝・渡邊 昇 (東京理科大)

IT4 フレッシュマン・一般 (15:50~17:05)

8. コスト付き符号化を用いたステガノグラフィの実画像における有効性 (3月研究会の振替発表)
○中澤 遼・渡辺 峻 (東京農工大)
9. グラフアンサンブル解析による非適応型閾値グループテストに対する距離分布
○野崎隆之 (山口大)・三村和史 (広島市大)
10. ゲート型量子コンピュータの量子ノイズ解析—大規模量子多体系のエラーモデルと実例— 廣田 修 (中大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月4日(金) 早大西早稲田キャンパス [未定] テーマ: 誤り訂正符号, 一般 (「誤り訂正符号のワークショップ」と併催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<https://www.ieice.org/ken/program/index.php>

【問合先】

情報理論研究会幹事

E-mail: it-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐)